Vol. 4 Spring

# **ONE WORLD** Smiles だより

改めて考えたい 小学校英語で大切にしたいこと 第4回

目標・学習・評価を通して、自律した学習者の育成を

#### **「ゴールから計画を立て、指導と評価の一体化をめざす**

外国語が教科となり、三段階の数値的評価が求めら れていますが、「思考・判断・表現力(以下、思判表)」 や「主体的に学習に取り組む態度(以下、主体)」を どう見取ればよいかというお尋ねの声もうかがいま す。評価とは、「学習と指導の改善につながるもので ある」という原則を再確認したいものです。児童に授 業の理解度や自身の学びを振り返らせ、「自分がどこ ができていて、どこができていないか」を知り、「ど うすればさらに良くなるか」を考え、粘り強く学習に 取り組ませることが大切です。

小学校でも Can-Do リスト形式(以下、Can-Do) の学習到達目標の設定による、指導と評価の一体化が 求められています。評価の前には目標があり、指導が あります。各レッスン冒頭の活動Let's Watchでゴー ルの姿 (モデル) を示し、最終的にそこに到達させる ためには、どのような指導や言語活動を行えばよいの かを、「逆向き設計\*」で計画しましょう。『ONE WORLD Smiles』は、「聞く」「話す(やり取り・発 表)」「読む」「書く」の4技能5領域の活動を通して、 楽しく段階的に学べるようになっています。

また、「思判表」を見取るためには、目的・場面・ 状況を設定することが、「主体」では、粘り強く学習 に取り組む態度と自己調整ができているかが問われま す。何か食べたいものがあるときも、友達に話す場合 と、お店で注文するときは内容や伝え方も異なります。 学んでいないことは評価できません。日々の授業を大 切に、「意味のある本物のことば」を使わせながら習 得させたいものです。

#### 振り返りの自己評価と教師の声かけを大切に

『ONE WORLD Smiles』では、各レッスンの最 後にクローバーの葉で Can-Do の振り返りを行いま すが、授業中の先生の声かけも大切です。児童のどこ が良かったか、具体的にほめて育てましょう。「相手 の目を見て、反応を確かめながら話していた」「内容 がわかりやすく話す順番も工夫していた」「資料をう まく使って効果的に話せていた | など、即時にフィー

\*逆向き設計:最終的な児童の姿からさかのぼって指導計画を設計したり、 目標を達成したかを評価する方法を事前に設計したりすること



関西学院大学教授 泉 惠美子 **ONE WORLD Smiles** 

ドバックを行うとともに、児童の相互コメントも試み ましょう。ほめられることで自己肯定感や有能感が育 ち、「もっとがんばろう」という意欲が高まります。

この内発的動機づけが学習の原動力となり、英語が 好きになったり、やる気を高めたりするでしょう。教 師が記録に残す評価を行うだけでなく、Can-Do に よる自己評価を授業中に行うことは、日々の学習を振 り返る省察力やメタ認知を高めることにつながります。

#### | 自律した学習者を育てる―児童とルーブリックの共創を

総括的評価においては、リスニング力や読む力を測 る筆記テストのみならず、実際にパフォーマンス課題 を設定して、児童に英語を使って発表ややり取りをさ せることも重要です。その際、ルーブリック(評価基 準表)をもとに、パフォーマンスを観察したり、録画し たりして、観点別に評価を行います。ルーブリックを作 成する際は、A・Bの姿などについて、あらかじめベン チマーク(パフォーマンスのモデル)を設定し、記述 してみると、評価観点がイメージでき参考になります。

さらに、ルーブリック作成時に、児童を巻き込み、 ともに創りあげる先生もおられます。児童は学習を登 山に見立て、各自の学びの道筋を定め、毎時間目標が 達成できたかを振り返り、さまざまな方法で学びを深 めています。つまり、「学習の主体が自分である」と いう意識をもたせ、評価活動に関与させることにより、 児童自身も評価者として、タブレットで録画した発表 を見直し改善するなど、主体的に学ぶ態度が育ちます。 そして、評価は学習のために役立つものとなり、児童 を自律した学習者に育てることができるのです。ICT の活用により、互いのパフォーマンスを録画・提出・ 共有し、コメントをし合うことも可能です。先生方も、 児童の能力や可能性を信じ、思い切って児童に目標設 定や評価を任せてみてはいかがでしょうか。

連載

すぐに役立つ活動集 第4回



東広島市立高屋西小学校・主幹教諭・大谷・哲也



#### 「英語が伝わる喜び」を実感させるために

私の前任校である尾道市立日比崎小学校は、平成17年度に尾道市課題解決パイロット校(英語活動)の指定を受けて以来、文部科学省「研究開発学校」の指定、台湾の小学校との交流、教科化に向けての実践の普及など、外国語教育について先進的・継続的に研究を進めてきました。

児童が授業以外の場面でも「英語が伝わる」という 喜びを実感し、少しずつ力をつけていくためには、授 業内外のさまざまな機会をとらえ、継続的な指導をし ていく必要があります。

今回は、「つなぐ」という視点で、日比崎小学校での実践をいくつか紹介します。

## \*

#### 1. 既習事項を「つなぐ」

当時、英語専科として6年生の授業に出ていた際、 "Where do you want to go?" と友達に問いかけて から、将来の夢を発表した児童がいました。はじめは その児童の意図がわかりませんでしたが、その児童は、 "I want to go to Italy. I want to be a soccer player." と発表を続けました。学習した英語を自分 なりに整理し、工夫して発表する児童に、とても感動 したことを覚えています。

大切なことは、児童が既習事項を繰り返し聞ける(使える)ように、指導者が授業のなかで意識して使うことです。ペアでやり取りさせる前に指導者自身のことを話す、教科書の登場人物の話を聞かせる前に児童とやり取りするなど、児童が既習事項にふれる機会を多



くつくることが大切です。特に教科書の登場人物の話はなかなか興味をもって聞くことができないので、聞く活動の前後で児童自身のことを尋ねると効果的です。

## 🧼 2. 他教科と「つなぐ」

日比崎小学校では、日本文化を紹介する単元の学習 と関連づけ、修学旅行先で初対面の外国人観光客に日 本文化を紹介していました。日本文化についての調べ 学習は、総合的な学習の時間や社会科との関連を図り ます。書写の学習の成果も生かすことができます。例 えば、毛筆で書いた「夢」という作品を外国人観光客 に見せながら、"This is my artwork. In English, it's 'dream.' Present for you." と言ってプレゼン トします。外国人観光客はとても喜び、それを見た児 童もうれしい気持ちになります。

相手の好みを聞きながらやり取りを楽しんだ児童もいます。着物を紹介した児童は、色の違う着物の写真を見せて"This is kimono." と紹介した



後に、"What color do you like? A (赤色)? B (青色)?" と好きな色を相手に尋ねていました。質問する表現を取り入れることで、お互い楽しみながらやり取りが広がっていきます。

また、家庭科との関連においては、「相手のためにオリジナルメニューを考えよう」というめあてで、家族や友達の体調や状況に応じてメニューカードを集める活動をしました。この活動では、お店屋さんごっこをする前に、"How are you?"と体調を尋ねたり、"What fruit do you like?"と相手の好みを聞いたりします。そうすることで相手のことを考えたメニューカードを集めることができ、児童の思考力も高めるやり取りの活動になりました。

## ♠ 3. 学校行事と「つなぐ」

6年生の修学旅行だけで なく、5年生の野外活動に おいても、外国語の学習成 果を生かす場を設定しまし た。市内の ALT を招待し、 一緒にゲームをしたりカ



レーを作ったりするなかで、授業で学習した英語を、 より生活に近い場面で使えるようにしました。自分の 英語が伝わり、相手が喜んでくれることで達成感が得 られ、その後の学習意欲につながります。 また、年に一度、 ALT との交流会 を行いました。これは各学年の単元 のゴールとしての 活動になるよう設



定しますが、6年生では修学旅行に向け、ALTに外国人観光客役として活躍してもらいます。外国人観光客は日本での観光を楽しみに遠く離れた国から来ています。その貴重な時間を児童のために使ってもらうので、その趣旨をALTに伝え、アドバイスをもらいます。この練習で表現力を高め、実際の交流の場で豊かなコミュニケーションができるようにしています。

## The same of the sa

#### 4. 他学年と「つなぐ」

「クイズ」にちなんだ単元では、5年生と3年生がそれぞれ、下学年を相手にクイズ大会を開いていました。自分たちより下の学年へクイズを出題させることで、ヒントの内容だけでなく、下の学年にも伝わるような話し方を意識させることができます。

小学校段階の児童の実態を考えると、クイズは大変効果的です。スピーチのなかにクイズを取り入れると、聞き手を巻き込みながら話すことができ、聞き手も興味をもって聞くことができます。どこかの単元でクイ

ズに力を入れることで、 その後の活動も活発にな ります。他学年との交流 を考えるなら、クイズの 活用がおすすめです。

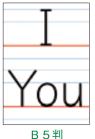


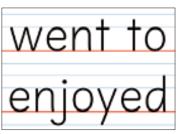
## 5. 作成した教材を「つなぐ」

教科化に向けての実践を各校に普及していた際、この板書の写真で使っているような自作の教材・教具を "Hibizaki Package" としてまとめ、研究会に参加された先生や尾道市内の全小学校に配付しました。



教材・教具の作成には時間がかかります。そして、 担任が替わる度に授業で使う教材・教具が変わると、 児童が安心して学習することができません。働き方改 革の視点でも、児童に系統的に力をつけていく視点で も、作成した教材・教具を、学校としてまとめ、共有 していくことが大切です。









上はよく使う表現を4線上に印刷したカード類。作成した教材・教具は左のように外国語コーナーにテーマごとに保管

し、指導者がいつでも使用できるようにしていました。

## 美

#### 6. 中学校と「つなぐ」

中学校への接続の視点もとても大事です。 6年生の集大成として、学年でスピーチコンテストを実施し、そ



の審査員役として、ALT だけでなく、中学校の外国 語科の先生に協力していただいていました。ふだんは みな忙しく、なかなか連携を図りにくいと思いますが、 中学校の先生に審査員役としてスピーチを聞いていた だくことで、学習状況や児童の実態を直接伝えること ができます。

また、中学校での初めての外国語科の授業で英語で 自己紹介をする際には、その様子を小学校の教員が見 に行きます。児童は元担任が聞いてくれているという 安心感のなかで、自己紹介をすることができます。

## X

#### 「つなぐ」視点で各校らしい授業改善を

「つなぐ」ことは、どの教科においても大切なものです。ふだんの生活で使わない英語はことさら、その定着や「学習した英語が伝わった」という達成感のために、外国語の授業を授業だけで終わらせず、さまざまな教育活動と「つなぐ」ことが大切です。今回はその一例として、日比崎小学校の実践を紹介しました。各市町村、各学校で状況が違うと思いますが、だからこそ、その市町村や学校の特色を生かし、「つなぐ」という視点から、授業改善に努めていくことが大切だと考えています。

## Smiles' Park

## 全国の先生方のひと工夫を紹介します!



「②】みんなでスポーツへの興味を広げよう! (6年 Lesson 6 Olympics and Paralympics)





スポーツにあまり興味のない児童も、「やってみたい」「伝 えたい」という思いをもって単元末(7時間扱い)の言語 活動に取り組めるよう、次の流れで授業を行いました。

- ① 「アスリートクイズ」 「カードマッチング (選手と得意 技など)」などを通して、英語表現や語いの拡充、題材 への興味を高める。
- ②インタビュー活動「やってみたいオリ・パラスポーツ」 などに挑戦し、表現に慣れ親しむ。
- ③魅力的なアスリートの情報を調べ、英語で紹介文を書く。
- ④大型提示装置を用いてアスリート紹介の発表をする。 児童からは、「好きなアスリートの魅力をみんなに伝え られて楽しかった| 「発表を聞いて、たくさんのアスリー トを知ることができた」など、多くのうれしい感想が寄せ られました。

提供:立木 則子 先生

(秋田県横手市立横手北小学校 教諭)

# 発表 # 書くこと # 調べ学習 # 好きなアスリート

アスリートの画像はピクトグラムで隠し、クイズとして掲示しました。



※本記事は2023年3月にご執筆いただいたものです。

### Information

『ONE WORLD Smiles だより』vol.3 を

ウェブサイトに掲載しました

Vol.3の「すぐに役立つ活動集」 に関連し、ワークシート例がダウ ンロードできます。ご活用くださ い。



◆ 英語落語を楽しもう! 中学英語の教科書にも 登場する桂かい枝さんがサイトを立ち上げ

世界的に活躍する英語落語家の桂かい枝さんが、ネイ ティブスピーカーを含むプロの落語家たちによる「英 語落語振興会 English Rakugo Federation」を立 ち上げました。学校での英語落語公演などの依頼も受 け付けています。







3月の日曜日に新宿御苑に行ってきました。チケット購入を待つ行列で知り合いになったジョアンナさんはフランス出身。日本の「食べ物」「景 色」「文化」「工芸品」が大好きで、写真を撮ってインスタグラムで発信しているそう。さまざまな国や地域の方が満開の桜を囲むようすに、花 を愛でる気持ちは万国共通!としみじみ。新しい春ですね。たくさんの出会いとたくさんの笑顔が咲きますように。



〒135-0063 東京都江東区有明3-4-10 TFTビル 西館 TEL:03-5579-6278 (代表) https://www.kyoiku-shuppan.co.jp

こちらから 弊社小学校英語サイトに アクセスできます。



本資料は、文部科学省による「教科書採択の公正確保について」に基づき、 一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」にのっとり、配布を許可されているものです。

